



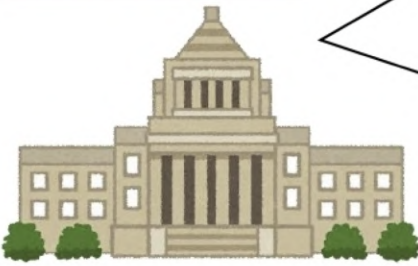
未曾有の物価上昇で生活の危機を迎えている今こそ賃金の引き上げをはじめとした総合労働条件の向上を“みんなの力”で実現しよう

2022年12月12日 **NO.06**

**23春闘  
始まる!**

**政府や企業側は  
賃上げが必要との認識を示す!**

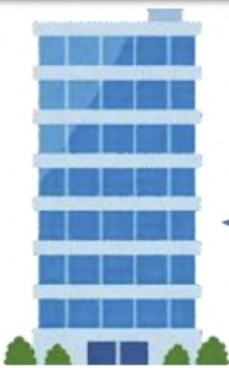
**政府の動き**



物価・賃金・生活総合対策本部

- ◆ 物価高対策を盛りこんだ総合経済対策を裏付ける2022年度第2次補正予算の早期執行を指示。
- ◆ 電気・ガス料金の値引きを23年1月の使用分から始めると表明。
- ◆ 「成長と分配の好循環の実現は23年の春季労使交渉(春闘)の成果にかかっている」と物価高騰に見合った賃上げに改めて期待を示す。

**経団連の動き**



- 連合の要求について今年の春闘も4%程度。5%に驚きはない。
- **物価上昇に負けない賃上げが経営側の責務と明言。**
- 経営労働政策特別委員会報告(経労委報告)に盛り込み、賃上げに積極的に取り組む考えを強調。

12月5日の会長定例記者会見

**我々の意思を明確に示してたたかおう!**

- 23春闘は基本給を底上げするベースアップ(ベア)の引き上げ幅が焦点の1つとなる!
- 課題として、ジョブ型など多様な働き方が広がり、一律の交渉には限界もあり持続的な賃上げをもたらす構造転換が、労使とも問われる交渉になる!
- ➔ **我々は、JR東日本が行った「定期昇給2」を取り戻すことが重要な課題!**

夏季手当時の  
確認事項を守れ!

- ◇ 鉄道が未来永劫発展していくためには労使議論が必要であり、双方の立場を認め合いつつ、議論に踏まえ認識の一致を図っていくこと!
- ◇ 黒字を達成した際には社員への還元を実施すること!
- ◇ 社員が未来を展望できる労働条件を確立を図ること!

**東京地本発**